

科学研究費助成事業 研究成果報告書

平成 28 年 6 月 27 日現在

機関番号：12401

研究種目：基盤研究(C) (一般)

研究期間：2013～2015

課題番号：25370394

研究課題名(和文) 1930年代後期中国人日本留学生の演劇・美術活動に関する基礎的研究

研究課題名(英文) A Preliminary Study of the Theatrical and Artistic Activities of Chinese Students Staying in Japan in the Late 1930's

研究代表者

小谷 一郎 (KOTANI, Ichiro)

埼玉大学・人文社会科学研究科(系)・教授

研究者番号：60136009

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 2,200,000円

研究成果の概要(和文)：1)一次資料、関係資料の発掘・収集 本研究内にこれまで日本国内にはなかった一次資料を北京大学などにおいて『留東新聞』、『留東学生』、『学聯半月刊』等を発掘、収集した。2)成果の公表 これまで発掘・収集した一次資料を『埼玉大学蔵マイクロフィルム・マイクロフィッシュ 1920-1940年代中文稀覓雑誌・新聞目録』(全193種)のかたちで公刊し、大方の研究者の便に供した。また、成果の一部を論文化し、『中国文芸研究会会報』に「1930年代における中国人日本留学生の演劇活動再考」というかたちで現在も連載中である。

研究成果の概要(英文)：1)Discovery and Collection of the 1st hand and related documents. I have discovered and collected, at Peking University and some other universities, news and magazines including Ryutoshinbun, Ryutogakuse, and Gakusohangekkan.

2)Publication of Research Results. We made our research results available for interested researchers by keeping the collected 1st hand materials at the Library of Saitama University as "the Inventory of Chinese Rare Magazines and Newspapers in the 1920's, 1940's, Microfilms and Microfiches Possessed by Saitama University". And also, I am now continuing to publish a part of our results as a series of articles under the title, "The Theatrical and Artistic Activities of Chinese Students Staying in Japan in the Late 1930's Revisited" in Bulletin of Research Group for Chinese Literature and Arts.

研究分野：中国近現代文学

 キーワード：中国人日本留学生 1930年代後期 東京左連 中華同学新劇会 演劇・美術活動 中華戲劇座談会
美術研究会 黄新波

1. 研究開始当初の背景

研究代表者はこれまでも長年にわたって1930年代中国人日本留学生の文学・芸術活動に関する掘り起こし作業に努めてきた。1930年代の中国人日本留学生の文学・芸術活動に関する研究はこれまで研究の「空白期」であった。にもかかわらず、1930年代の中国人日本留学生の文学・芸術活動に関する研究は、中国人日本留学生史研究のみならず、日中近代文学・芸術の交流、日中比較文学、中国近現代史等々の分野においても大きな意味を持つはずである。この研究は内外の研究者、とりわけ中国、台湾の研究者からも注目されていた研究分野である。しかしながら、舞台が日本、日中戦争が厳しさを増していった1930年代の東京であり、日本人研究者でさえ難しい中国人日本留学生に関する当時の一次資料の掘り起こし作業は、中国側研究者には大きな困難があり、手つかずになっていた。また、日本近代文学、日本近現代史など日本人研究者にとっては中国語が壁になって遅々として進まない状態にある。そうした時、本研究課題の作業を行うのは日本側研究者、日本の中国近現代文学研究者に課せられた課題ではないかと考えた。本研究はこうした問題意識からスタートしたものである。爾来、研究代表者は内外の研究者と連絡、その協力を得ながら、1930年代日本における中国人日本留学生の文学・芸術活動に関する「掘り起こし」作業を緩いテンポではあるが推し進めてきた。

2. 研究の目的

本研究の目的は、先に述べた通りである。本研究は、これまで研究の「空白期」であった1930年代中国人日本留学生の文学・芸術活動の「掘り起こし」作業の一環に位置付けられるものである。本研究では、研究題にもあるように、1930年代後期の中国人日本留学生の演劇・美術活動に関する研究、掘り起こし作業を進めることを最大の目的としている。この目的を遂行するために本研究が取った方法は以下に述べる通りである。

3. 研究の方法

中国人日本留学生の演劇・美術活動に関する掘り起こし作業は、いまようやく緒についたばかりである。ために、本研究にとって不可欠なのは、基礎となる一次資料、関係資料の発掘である。それらの基礎資料を発掘し公刊して、内外に発信することによって今後の研究の礎が築かれ、今後の進展が期待される。そうした基礎資料の発掘、収集、公開を図ることが本研究の狙いである。このため本研究では、(1)中国を含め、国内外の研究機関、図書館などに赴き、一次資料、関係資料の発掘調査を行い、発掘、収集に努めてきた。(2)また、その際、内外の研究者とも密接な連絡を取り、今後の研究発展のために研究者のネットワーク作りにも努めた。(3)研究協力

を要請した主な海外の研究機関、図書館は次の通りである。

北京大学・北京大学図書館
中国社会科学院
清華大学
上海市図書館
上海魯迅紀念館
広東美術館
広東美術学院
南京大学図書館

その際、

北京大学教授王風
中国社会科学院教授趙京華
広東美術学院蔡涛
等の各氏から多くの研究協力を得た。

4. 研究成果

(1) 一次資料、関係資料の発掘・収集

本研究によってこれまで日本国内にはなかった、また中国国内にあっても散逸していた多くの一次資料、関係資料を発掘、収集することが出来た。その主たるものを次の通りである。当時の留学生が出していた、

『留東新聞』(北京大学図書館蔵)
『留東学生』(同上)
『学聯半月刊』(同上)その他

これらの資料は、デジタルカメラを使用して収集した。他の資料は基本的にマイクロフィルム、マイクロフィッシュのかたちで収集し、それらはすべて関係図書資料と共に埼玉大学に集中してあり、各研究機関の研究者が営利を目的とするものでなければいつでも利用が可能である。

(2) 成果の公表

本研究によって発掘、収集し得た一次資料、関係資料を、これまでに研究代表者が科学研究費など得て発掘、収集してきた一次資料を含めたかたちで『埼玉大学蔵マイクロフィルム・マイクロフィッシュ1920-1940年代中文稀覯雑誌・新聞目録』(全193種)として公刊し、大方の研究者の便に供した。

なお、論文等のかたちで公表した本研究における成果等については次項「5. 主な発表論文等」にまとめて記した。論文成果等の詳細についてはそちらをご参照いただきたい。

(3) 研究者のネットワーク化

本研究を通して、「研究の方法」の項で述べた各研究機関、各氏をはじめ研究者間の内外におけるネットワーク化が初歩的ながら確立した。研究代表者としては、こうした各研究者間のネットワーク化がますます進み、研究の進展となることを念じて止まない。

本研究は、上記のような成果を得たものの研究としてまだまだ緒についたばかりであ

る。最後に、繰り返しとなるが今後の研究進展を心から念じて止まない。こうした掘り起こし作業は一人の研究者だけによって出来るものではない。それだけに今後の進展を念じて止まない。

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文](計22件)

小谷一郎、1930年代における中国人日本留学生の演劇活動再考(六) - 中華同学新劇会第二回公演などについて(三)、中国文芸研究会会報、査読無、415号、2016、1-4

小谷一郎、1930年代における中国人日本留学生の演劇活動再考(五) - 中華同学新劇会第二回公演などについて(二)、中国文芸研究会会報、査読無、412・413号、2016、4-7

小谷一郎、1930年代における中国人日本留学生の演劇活動再考(四) - 中華同学新劇会第二回公演などについて(一)、中国文芸研究会会報、査読無、411号、2016、5-8

小谷一郎、贈られた一冊の本を見ながら思ったこと、中国文芸研究会会報、査読無、400号記念号、2015、16-18

小谷一郎、盧溝橋事変勃発前後の中国人日本留学生(二) - 『留東新聞』と『留東学報』、併せて『留東週報』のことなどについて、埼玉大学文化科学研究科博士後期課程紀要『日本アジア研究』、査読有、12号、2015、51-64

小谷一郎、1930年代における中国人日本留学生の演劇活動再考(三) - 中華同学新劇会第一回公演曹禺「雷雨」公演について(三)、中国文芸研究会会報、査読無、410号、2015、1-4

小谷一郎、1930年代における中国人日本留学生の演劇活動再考(二) - 中華同学新劇会第一回公演曹禺「雷雨」公演について(二)、中国文芸研究会会報、査読無、409号、2015、1-5

小谷一郎、1930年代における中国人日本留学生の演劇活動再考(一) - はじめに、及び中華同学新劇会第一回公演曹禺「雷雨」公演について(一)、中国文芸研究会会報、査読無、408号、2015、1-4

小谷一郎、続・1930年代後期における中国人日本留学生文学・芸術活動(四) - 留東婦女会、『留東婦女』、中国文芸研究会会報、査読無、404号、2015、1-4

小谷一郎、王建華訳、关于黄新波の几张照片 - 1930年代后期中国留日学生的文学、艺术活动断章(三)、2015年春号、166-183

小谷一郎、続・1930年代後期における中国人日本留学生文学・芸術活動(三) - 『婦

女的話』から『留東婦女』へ、中国文芸研究会会報、査読無、402号、2015、3-5

小谷一郎、続・1930年代後期における中国人日本留学生文学・芸術活動(二) - 『留東婦女』に先立つ留東婦女の活動、『婦女的話』など、中国文芸研究会会報、査読無、398号、2014、1-4

小谷一郎、王建華訳、关于黄新波の几张照片 - 1930年代后期中国留日学生的文学、艺术活动断章(二)、2014年冬号、144-157

小谷一郎、王建華訳、关于黄新波の几张照片 - 1930年代后期中国留日学生的文学、艺术活动断章(一)、2014年秋号、143-148

小谷一郎、続・1930年代後期における中国人日本留学生文学・芸術活動 - 毛掬“留東婦女会”簡況、中国文芸研究会会報、査読無、397号、2014、1-3

小谷一郎、盧溝橋事変勃発前後の中国人日本留学生(一) - 『留東新聞』事件、『現世界』半月刊事件、引擎出版社のことなど、埼玉大学紀要教養学部、査読無、第50巻1号、2014、33-54

小谷一郎、黄新波に関するいくつかの写真から - 1930年代後期中国人日本留学生文学・芸術活動断章(八)、中国文芸研究会会報、査読無、386号、2013、1-5

小谷一郎、黄新波に関するいくつかの写真から - 1930年代後期中国人日本留学生文学・芸術活動断章(七)、中国文芸研究会会報、査読無、385号、2013、1-5

小谷一郎、王建華訳、关于王道源以及“青年艺术家联盟”的事、上海鲁迅研究、査読有、2013年春号、2013、146-174

小谷一郎、黄新波に関するいくつかの写真から - 1930年代後期中国人日本留学生文学・芸術活動断章(六)、中国文芸研究会会報、査読無、383号、2013、1-4

②小谷一郎、黄新波に関するいくつかの写真から - 1930年代後期中国人日本留学生文学・芸術活動断章(五)、中国文芸研究会会報、査読無、381号、2013、1-3

②小谷一郎、黄新波に関するいくつかの写真から - 1930年代後期中国人日本留学生文学・芸術活動断章(四)、中国文芸研究会会報、査読無、380号、2013、1-3

[学会発表](計0件)

[図書](計2件)

小谷一郎、私家版、埼玉大学蔵マイクロフィルム・マイケルフィッシュ1920-1940年代中文稀観雑誌・新聞目録、2016、13

小谷一郎、汲古書院、創造社研究 - 創造社と日本、2013、342

〔翻訳〕(計1件)

小谷一郎、朱自清「後ろ姿」、勉誠出版、
中国1930年代文学研究会編『中国現代散
文傑作選1920 - 1940』、2016、
327 - 332

〔産業財産権〕

出願状況(計0件)

取得状況(計0件)

6. 研究組織

(1) 研究代表者

小谷 一郎 (KOTANI, Ichiro)

埼玉大学・人文社会科学研究科・教授

研究者番号：60136009

(2) 研究分担者

()

研究者番号：

(3) 連携研究者

()

研究者番号：